

新年度を迎えるにあたって

長い冬が、終わりを告げ4月1日から令和3年度が始まります。

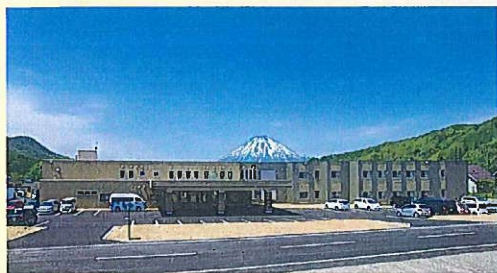
きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜の運営に対し地域、地元の方々には大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいでございます。この場を借りてお礼を申し上げます。

コロナ禍で先が見えない中、両施設での面会は原則ご遠慮いただいておりますが、ワクチン接種が間もなく始まり感染が終息に向かい、ご家族等が安心して面会できる日が一步ずつ近づいて来ることを楽しみにしています。まだまだ新型コロナウイルス感染症の変異株等で余談は許せない状況ですが待ち遠しい限りです。

施設サービスでは、きもべつ喜らめきの郷は80人、るすつ銀河の杜では29人のご利用者があり入所されており、在宅サービスでは、るすつ銀河の杜デイサービス、ケアプランセンターこころようてい（居宅介護支援事業所）ケアセンターこころようてい（訪問介護）では合わせて70人余りの方々がサービスをご利用されています。その方に合った、その人らしい生活ができるよう職員一丸となり笑顔で支援をさせて頂いております。ご利用者様に敬愛の念を込め満足して頂くよう、溪仁会でサービスを利用し本当に良かったと思っただけのような心を含め業務にあたって行きます。

私達職員は自らの健康に十分に注意しながらご利用者の命・健康を守る為、クラスターを起こさないよう今、現在は施設の開放等出来ませんが、継続して地域、地元の皆様に拓かれた施設を目指し皆様のご協力を賜りながら地域の社会福祉に清進して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



きもべつ喜らめきの郷
るすつ銀河の杜
施設長 三好 誠

喜らめき・銀河タイムス

皆様にも、ホッとひと時、お届けします。



- 社会福祉法人溪仁会 経営理念
- 一. 安心・安全
 - 二. 信頼・満足
 - 三. 地域に貢献

る

み

さ

ん

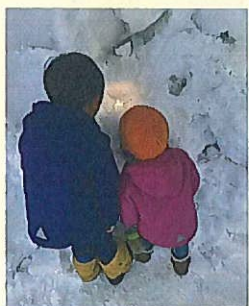
ぼ



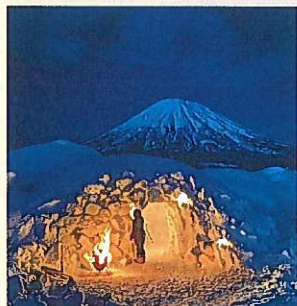
今回は、ケアセンターこころようてい サービス提供責任者、松本るみ子さんが、コロナ禍でなかなか出歩くことが出来ないなか、魅力あふれる地元ならではの冬の過ごし方をご紹介します。

突然ですが、皆さんは子どもの頃、冬はどんな遊びをしていましたか？今の子ども達はゲームをしたり、携帯で動画を見たりなどしていることが多いと思いますが、私は雪ダルマを作ったり、雪合戦をしたり山でスキーをしていました。（年代が解ってしまいますよね。笑）世の中は新型コロナの影響で未だ外出の自粛ムード。我が家も外出がめっきりと減り、おうち時間が増えました。また、今年は例年以上の積雪で雪かきの時間も増え、日に日にストレスも溜まってきていました。そんな時、ふっと私の頭の中を過ぎったことは「この大雪で楽しいことが出来ないだろうか？そうだ、かまくらを作ろう！」でした。

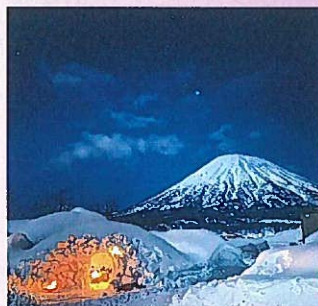
3/2、この日は朝から天気も良く絶好のかまくら作り日和。家の近所にある公園で町内会が管理している一角の使用許可を頂き、夫が前もってショベルカーで積み上げ固めてくれていた雪山を息子とその友だちが掘り進めて行く。私はもちろん現場監督。（笑）開始から4時間で完成しました。気づくと辺りは薄暗くなっていました。どこで見ているのかご近所の方々が、20本ものキャンドルを差し入れに、出来上がったかまくらを見学に来てくれました。そこで、かまくらをキャンドルでライトアップ。羊蹄山をバックに柔らかな炎と一際輝くオリオン座、外気温がマイナス12℃であることが相まって、幻想的な風景を見ることができました。普通であればこれで終わるのですがここから続きがあるのがこの企画。かまくらの前に焚き火台をセットし、家族で鍋をしました。（もちろんコロナ対策を万全にしたうえで）羊蹄山麓周辺も雪解けが進み、春の足音が近づいていますが、皆さんも残り少ない冬を思い思いに満喫してみたいはいかがでしょうか。



姪っ子・甥っ子が
見学にきました。



キャンドルでかま
くらをライトアップ！



羊蹄山の山頂左上方に
一際輝くオリオン座が



密にならないような
広さのかまくらで鍋

キラキラ・モリモリ Best Photo



コミュニティホーム白石からの
応援派遣の村田主任と一緒に体操



皆で楽しく風船バレー
何回続けてしょうか？



まだ若かりし頃の写真です。どなた
たでしょうか？4月から札幌での
お仕事頑張ってください。